

〈新規受託〉 研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● NPM1 遺伝子変異解析

(依頼コード No.11888)

受託開始日 2018年7月2日(月) 受付分より

急性骨髄性白血病(AML)においては、染色体核型だけではなく、遺伝子変異による予後予測の細分化もおこなわれています。AMLにおける遺伝子変異のひとつとしてNPM1変異があり、AMLの約30%に検出されます。NPM(ヌクレオフォスミン)は核小体に存在し、増殖や細胞分裂の制御に関するリン酸化蛋白です。

AMLの遺伝子変異はFLT3-ITD変異が寛解導入療法に対する予後不良マーカーとして知られていますが、NPM1遺伝子変異は予後良好因子として報告されています。FLT3遺伝子異常がありNPM1遺伝子変異のない患者は予後不良群、FLT3遺伝子異常がありNPM1遺伝子変異のある場合には予後中間群、さらにFLT3遺伝子異常がなくNPM1遺伝子変異のある場合は予後良好に分類されると考えられており、FLT3遺伝子変異と併せてNPM1遺伝子変異を調べることはAMLの予後の層別化に有用です。

本検査は、NPM1遺伝子変異の90%を占めるエクソン12への3種類の挿入パターン【A型(TCTG挿入)、B型(CATG挿入)、D型(CCTG挿入)】をリアルタイムPCR法により識別して検出します。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場 1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コードNo.	11888
検査項目名	NPM1 遺伝子変異解析
統一コード	8C565-9951-019-862
検体必要量	血液 2.0mL / 骨髄液 0.5mL
容器	血液 : B-30 (EDTA2K加血) 骨髄液 : O-97 (遺伝子診断検査 骨髄用)
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁
所要日数	4~14
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	(-)
報告範囲 (報告形式)	(-)、ヘンイA、ヘンイB、ヘンイD
検査実施料/判断料	未収載

【参考文献】

How J., et al.: Blood Cancer Journal 3, e116, 2013. doi:10.1038/bcj.2013.14

Schnittger S., et al.: Blood 106, 3733-3739, 2005. doi: <https://doi.org/10.1182/blood-2005-06-2248>